

事務事業チェックシート

事務事業No 766 事業名 基礎学力向上事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	2	社会を生き抜く子供たちの学力の育成
施策	1	確かな学力を育む教育の推進
取組方針	1	教育課程の充実と学力の向上

事業種別	継続		
事業期間	～ 永年		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画	和歌山市教育振興基本計画		
担当課・担当課長・Tel	学校教育課	東 康修	435-1139
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		教育総務費	
	目		教育振興費	
	大事業		教育振興事業	
中事業		基礎学力向上事業		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か ・放課後の補充学習を行い、学力向上に向けた取組みを推進する。 ・「紀州っ子学びノート」により小学生の読む力・書く力・伝え合う力を伸ばし、国語力の向上を図る。		全体事業概要 ・学習支援員を活用し、放課後の補充学習を充実させ、学力向上につなげる。(放課後フォローアップ事業) ・「紀州っ子学びノート」を小学生全員に配付し、授業や補充学習・家庭学習で活用し、読む力・書く力・伝え合う力を伸ばす。			
	事業内容	平成27年度 ・「紀州っ子学びノート」を市内全児童に配付し、各校で活用した。 ・「うちどく推進校」を23校園指定し、読書活動について研究を進めた。 ・「放課後フォローアップ事業」で、さらなる学力の向上を図った。	平成28年度 ・「紀州っ子学びノート」を市内全児童に配付し、各校で活用した。 ・「うちどく推進校」を指定し、読書活動について研究を進めた。 ・「放課後フォローアップ事業」で、さらなる学力の向上を図った。	平成29年度 ・コミュニティ・スクールを導入する。 ・「放課後フォローアップ事業」で、さらなる学力の向上を図る。 ・「紀州っ子学びノート」を市内全児童に配付し、各校で活用する。	平成30年度 ・「放課後フォローアップ事業」で、さらなる学力の向上を図る。 ・「紀州っ子学びノート」を市内全児童に配付し、各校で活用する。	平成31年度 ・「放課後フォローアップ事業」で、さらなる学力の向上を図る。 ・「紀州っ子学びノート」を市内小学生全員に配付し、各校で活用する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	13,086	12,282	6,123	5,730	11,787	10,633	9,966		9,966	
伸び率(%)	-	-	▲53.2%	▲53.3%	92.5%	85.6%	▲15.4%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	6,328	7,416	7,059	7,774	7,328	7,728	8,418		8,418
	正規職員以外									
小計	6,328	7,416	7,059	7,774	7,328	7,728	8,418		8,418	
国庫支出金	1,540	1,070	1,540	1,487	1,540	1,490	1,540		1,540	
県支出金			503	256	633	247				
市債										
その他										
一般財源(税等)	11,546	11,212	4,080	3,987	9,614	8,896	8,426		8,426	
所要人数(人)	正規職員	0.85	0.97	0.97	0.98	0.92	0.97	1.06		1.06
	正規職員以外									
主な予算内訳	報償金4,620千円、印刷製本費6,217千円 ほか									

3 目標及び実績

指標名	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標 放課後学習等フォローアップ事業実施校	校	目標値	30	30	30	30	30
		実績値	11	14	18	19	
		達成度(%)	36.7%	46.7%	60.0%	63.3%	
活動指標 コミュニティ・スクール設置校	校	目標値			20	31	69
		実績値			22	53	
		達成度(%)					
成果指標 放課後学習等フォローアップ事業 学習支援員活用時間	時間	目標値	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100
		実績値	1,456	2,070	2,070		
		達成度(%)	69.3%	98.6%	98.6%		
		目標値					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	放課後補充学習及び「紀州っ子学びノート」の活用は、子供の基礎学力向上のため、充実拡充が必要である。
見直し・改善内容	一層の充実、拡充が必要である。